

10月 地域でつくりあげる秋祭り  
20日 各地区ふれあいまつり



区ごとの出店が並び、大盛況だった  
鶺鴒の里まつり



竹永地区ふれあいまつりの最後に演奏を披露した八風中学校吹奏楽部



千種地区ふれあいまつりでたくさんの子どもたちが参加した巨大かるた

小学校や各地区コミュニティセンターを主会場にして鶺鴒の里まつり、竹永地区ふれあいまつり、千種地区ふれあいまつりを開催しました。各会場では吹奏楽や合唱、詩吟などのステージ発表が行われ、子どもから大人まで幅広い演目が披露されました。また、絵画、書道、俳句といった作品も展示され、来場者は芸術の秋にあわせて興味深そうに眺めていました。屋外ではバザーや模擬店などの出店があり、地元のグルメや名産を求めて長い列ができるなど、どの地区でも賑わっていました。



千種地区ふれあいまつりで子どもたちと遊ぶこもしか

10月 雄9羽、雌9羽が大空へ飛び立つ  
18日 キジ 18羽を放鳥



町猟友会会員が放つと勢いよく山へ向かって飛び立つていくキジたち

役場本庁南側河川敷で町猟友会会員によるキジの放鳥が実施されました。これは三重県猟友会が狩猟鳥獣であるキジの個体数確保および保護繁殖を目的としているもので、今年は県内8市町で合計約140羽のキジが放たれました。放たれたキジは猟友会の手から勢いよく飛び立ち、今後は河川敷や田んぼなどでその姿が観察できるかもしれません。



10月 1年に2回 春と秋に開催  
19日 秋のウォーキング大会



穏やかな気候の中、三滝川河川敷を歩く参加者たち

世代を問わずたくさんの方にウォーキングを楽しんでもらおうと秋のウォーキング大会を開催しました。84人の参加者は自身の体力に合わせてロング10キロコース、ショート5キロコースのどちらかを選択し、役場本庁からスタートしました。三滝川河川敷から大羽根園区、菰野第一区、菰野第二区を巡り、きらら湖や稲穂の風景を楽しみながら自らのペースでゴールの役場本庁へと戻ってきていました。

10月 ピアノとパーカッションをメインに据えて  
12日 RHYTHMATRIX を開催



6人の素晴らしい演奏で一体となった会場

Jazz Concert RHYTHMATRIX を町民センターホールで開催しました。海外でジャズピアニストとして活躍し作曲も手がけているクリヤ・マコトさんとブラジル音楽特有の打楽器「パンデイロ」の世界的第一人者であるパーカッション奏者の安井源之新さんを中心にベースの早川哲也さん、ドラムの大槻"kalta"英宣さん、ボーカルのKOTETSUさん、サクスの浦田オサムさんら6人が出演しました。安井さんが奏でる激しくも独特なリズムにジャズの旋律が重なり、会場は熱狂に包まれていました。



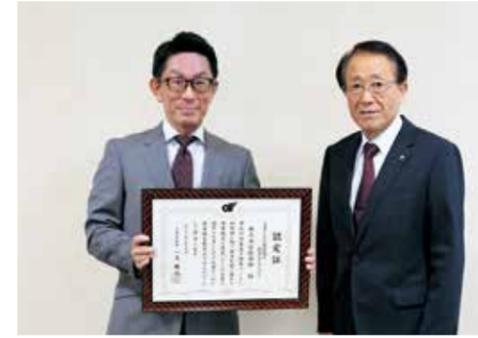
10月 22年ぶりに新しい車両を千種分団に配備  
13日 千種分団 消防車両更新



千種分団に新たに配備された新しい消防ポンプ自動車

消防団千種分団に新型の消防ポンプ自動車が導入され、菰野町消防署で引き渡し式を行いました。千種分団の車両は22年ぶりの更新となり、引き渡し式では、新しい消防ポンプ自動車の鍵が町長から重盛秀夫消防副団長へ、さらに谷陽介分団長へ引き渡されました。

10月 従業員の健康維持に取り組む  
8日 院南組が健康大賞で殿堂入り



認定証を手に写る院南社長と町長

一重とこわか健康経営大賞で優秀賞を二三年連続で受賞し、殿堂入りした(株)院南組が町長を訪問しました。今回の受賞は、腰痛持ちの従業員のために電動で高さ調整ができる机を導入したことや社内で栽培する野菜を用いた従業員の食生活改善の取り組みなどが評価されたものです。町長のもとを訪れた院南 督社長は「社員の健康第一を意識して職場環境の改善を行って来ました。今後は社員の運動習慣化を目指します」と報告しました。

10月 3日間平均スコアを60台で回る  
8日 ゴルフで全国大会優勝



今後のさらなる活躍を誓った北浦さん(写真中央)

ゴルフダイジェスト・ジャパンジュニアカップの15～17歳の部で優勝した北浦大暉さん(津田学園高校2年、菰野第三区)が町長を訪問しました。小学1年生からゴルフをはじめた北浦さんは大会を振り返り「後半で2位の選手の追い上げがあり焦りましたが、優勝できてよかった。優勝すればプロの予選会に出場できるため、優勝するつもりで臨みました」と語り、町長は「今後はプロになることも含めてさらなる活躍に期待します」と激励しました。